

# 平成29年度見附第二小学校の学校経営の基本方針

校長 小杉 洋一

## I はじめに

子どもを取り巻く環境が大きく変化する中で、個を伸ばす教育の推進が求められている。また、学校と地域の人々の信頼関係の構築、子どもを中心に据えた学校と地域との連携が求められている。

新潟県の学校教育の重点は、「地域の特色を生かし、地域とともに歩む学校づくり」である。そのために、全校体制による組織的継続的な取組、中学校区学校間連携、地域保護者との連携による取組が求められている。

当校では、児童数が年々減少する中、地域の学校に寄せる思いは強く、自然豊かな環境や小規模校のよさを生かした教育を推進してきている。これらのストロングポイントを生かし、教育目標の達成を目指して「見附第二小学校だからこそできる教育」の充実を図っていく。

## II 基本的な考え方

めざす学校像

**児童が喜んで登校し、楽しく学べる見附第二小学校**

- 1 児童が学んでよかったと思える学校
  - 一人一人が「分かる喜び」「できる楽しさ」を感じる。
  - 思いやりのある温かい言葉のあふれる日常。
  - 健やかな心と体づくりに励む。
- 2 保護者が学ばせてよかったと思える学校
  - 一人一人に合った指導による学力の向上。
  - 安全で児童一人一人のよさを認め、心と体を鍛える。
- 3 教職員が勤めてよかったと思える学校
  - 児童を伸ばすために、職員が指導力を向上する。
  - 全児童を全職員でみていく協力体制が機能する。
- 4 地域が協力してよかったと思える学校
  - 地域とのかかわり合いを大切にし、地域を誇れる心を育てる。
  - 子どもが地域に働きかけ、地域に貢献する。

## III 具体的な方策

- 1 教育目標：「学びを高める子ども」  
教育課題：「人とかかわる力の育成」（知・徳） 「健やかな心と体づくり」（体）
- 2 重点目標
  - 学力の向上 「学び続ける子ども」
  - 人間関係づくり 「相手を思いやる子ども」
  - 心と体づくり 「あきらめない子ども」
- 3 達成のための方策
  - (1) 基礎・基本の徹底を図る学習指導の推進
    - ・ 指導計画に基づいた実践と見直し（授業改善、特設タイム）
    - ・ キラキラタイムや漢字・計算タイムの実施、Web配信テストの活用

- ・ 徹底した個別指導、家庭学習支援
- ・ 特別支援教育の充実（個別の指導計画、教育支援計画に基づく指導）
- (2) 話し合い・学び合いのある授業の推進
  - ・ 「書く・話す力」を高めるための授業改善（校内研修・師がく）
  - ・ 相手とかかわりながら考えや思いを伝え合う場の設定
- (3) 考える力を育む読書指導の推進
  - ・ 「見附子どもの本100」の活用
  - ・ 朝読書、お話を聞く会、家庭読書の日、家庭への働きかけ
- (4) 「地域の自然にかかわり、課題解決していく」力の育成
  - ・ 里山（杉沢の森・人々の営み等）を活用した学習の充実
  - ・ エコ実践の推進と降積雪量調査の継続
- (5) 人間関係形成力の育成、道徳授業の改善
  - ・ 温かい言葉かけや行動を生む日常指導
  - ・ 全校縦割り班活動、視野を広げる体験活動
  - ・ 思いやりの心、困難を乗り越える心を育む道徳授業の推進
- (6) 明るくあいさつ運動の推進
  - ・ 生徒指導部、児童会を中心としたあいさつ運動、家庭や地域への働きかけ
- (7) いじめや不登校の未然防止、早期発見・即時対応
  - ・ 互いを認め合う学級づくり
  - ・ 各種アンケート活用と「子どもを語る会」「児童理解の会」の充実
- (8) 体力向上プログラムの作成と実践
  - ・ 体力テストの結果に重点を置いた授業改善
  - ・ 杉の子運動タイムや放課後の活用
- (9) 生活習慣や食生活改善を図る活動の推進
  - ・ 家庭と連携した生活習慣病予防の取組
  - ・ 教育活動全体を通して取り組む食育
  - ・ ローメディアウィークの実施
- (10) 保・小・中の連携
  - ・ みつばプラン校（上北谷小、田井小）との合同学習、体験活動等
  - ・ 見附中学校区小中連携事業（見附中、見附小・新潟小）  
絆集会、出前授業、交流活動、合同研修等
  - ・ 杉沢保育園との交流、情報交換
- (11) 「郷育」で地域の信頼に応える学校づくり
  - 教育活動への参加促進
    - ・ P T A、学校支援地域本部、同窓会、教育コーディネーターを中心とした地域住民の協力体制の整備
    - ・ 学校の様子の適切かつ積極的な公開  
学校だより、ホームページ、エプロン特派員による情報伝達  
P T A総会、教育を語る夕べ、地域懇談会等の保護者や地域との会合の活用
  - 安心で安全な学校づくりに向けた家庭や地域との連携強化
    - ・ 家庭、防犯連絡協議会との緊密な連携、杉の子メール
    - ・ 防災教育の推進
  - 新たな学校づくり
    - ・ コミュニティスクールの推進
    - ・ 第二小区やすらぎの郷コミュニティと連携した行事等の実施